

屋久島生態系モニタリング

屋久島東部(愛子岳)の植生垂直分布調査 (平成 23 年度/2011 年度)

●標高 200 ㎡プロット
 [優占種の変化]

階層区分	2001 年	2006 年	2011 年
高木層(9.0m 以上)	スダジイ	スダジイ	スダジイ
亜高木層(3.0 ~ 9.0m)	タイミンタチバナ	タイミンタチバナ	タイミンタチバナ
低木層(1.2 ~ 3.0m)	イヌガシ	イヌガシ	イヌガシ
草本層(1.2m 未満)	タシロリミノキ	タシロリミノキ	イヌガシ

2006 年の草本層で優占種となっていたタシロリミノキはヤクシカの嗜好種であるため、食害の影響を受けて、優占度が低下したと考えられる。
 [直径階別本数の変化]

2001 年から 2011 年にかけて胸高直径 10 ~ 19 cm の本数が 1ha あたり約 2000 本増加していた。原因としては、プロット設定地に隣接しているスギ人工林でモニタリング期間内に伐採を行ったため、差し込みの光が増え、幼樹の成長に影響を与えたと考えられる。このことから、標高 200 ㎡プロット周辺の森林は、現在も成長段階にあると考えられる。

[草本層指標種の出現と消滅]

消滅した種(嗜好性)	消滅した種(不嗜好性)	出現した不嗜好性種
ウラジロガシ	ハイノキ	キジノオシダ(暖)
		ホソバタバ
		ホソバノコギリシダ

※草本層は草丈の低さや茎の細さなどから、最も外部要因の影響を受けやすい層であると思われる。温暖化とヤクシカの食害の指標になり得る種を選定し、2001 年と 2011 年の草本層における指標種の出現と消滅を調べた。暖帯性でヤクシカの食害を受けない…アデク、ナタオレノキ、キジノオシダ、モクダチバナ、モッコク、冷帯性でヤクシカの食害を受けない…イヌノキ、ヒメジャラ、コバノイシカガマ、ヤマボウシ、コウヤクソクソブ。ヤクシカ嗜好種…タシロリミノキ、ヤクシマアジサイ、アカガシ、ウラジロガシ。ヤクシカ不嗜好種…シマイズセンリョウ、ホソバタバ、ハイノキ、ヤブツバキ、アリオオン、ホソバノコギリシダ、サザンカ。

夏休み親子森林教室

Ⅱ 親子で巨木の森を散策 Ⅱ

未来を担う子どもたちに世界自然遺産屋久島の自然や歴史に親子で親しんでいただくことを目的に、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会(以下「レク森協議会」)主催による「夏休み親子森林教室」が 8 月 23 日(土)にヤクスギランドで開かれました。

当日は低学年の子どもたちを中心に島外からの 1 家族を含む 8 家族 24 人が参加しました。森林教室は、屋久島観光協会ガイド部会所属の齊藤幸人、中馬慎一郎、杉本和賀子の各氏がインストラクター役を務め、これをレク森協議会や屋久島森林生態系保全センターの職員がサポートする形で実施。

はじめに、当センターの前田三文所長が「屋久島の自然は山岳ガイドやレク森協議会の職員など多くの皆さんの協力により守られていきます。また、この貴重な自然を案内する山岳ガイドの皆さんは登山者の年齢や体力を見極めてペース配分を判断し、安全かつ楽しく屋久島の自然や歴史を解説する大変な仕事です。本日のインストラクター 3 人はベテランガイドであり安心して森林散策を楽しんでください」とあいさつ。その後、参加者は 3 班に分かれヤクスギランド 50 分コースの森林散策に向かいました。

ヤクスギランドでの散策風景を以下に点描します。
【切株更新、倒木更新】
 屋久島では、苔むした切株や倒木からスギやハイノキなどの種子が発芽し成長しています。雨が多く、湿度の高い屋久島ではこのような樹木の世代交代が普通に見られます。

森林がどのように世代交代し推移していくのか、参加者は水滴の光る苔の中で成長する小さな稚樹を興味深く観察していました。



倒木更新を観察する参加者

森林がどのよう世代交代し推移していくのか、参加者は水滴の光る苔の中で成長する小さな稚樹を興味深く観察していました。

【ヤクスギランドの魅力を再発見】
 今回の参加者の多くは屋久島在住の方々でしたが、参加者からは「インストラクターの解説を聞いて改めて屋久島の森林の特徴を知ることができた」、「ヤクスギランドがこんなに魅力的な所だとは知らなかった」など

ヤクスギ電話ボックスの前で記念撮影

屋久島の植物



バクチノキ
 (バラ科)

【ヤクスギ伐採の歴史】
 樹脂を多く含むヤクスギは腐りにくいため、屋根を葺く板(平木)として江戸時代から伐採が進められました。巨大な伐根や試し切りの痕などで当時の様子をうかがい知ることが出来ます。

【巨木と着生植物】
 ヤクスギランドには千年を超すヤクスギの巨木が多く見られ、樹上には多くの植物が着生しひとつの生態系をなしています。また、ヤクスギに絡みつくヤマグルマ(別名シメコシノキ)も多く見かけます。これも屋久島ならではの森林風景かもしれません。

最後に、レク森協議会の日高美智男事務局長がヤクスギランドが誕生した経緯や歴史を分かりやすく解説し、全日程を終了しました。



ヤクスギ電話ボックスの前で記念撮影

お盆前後における縄文杉登山者数と自然休養林入場者数

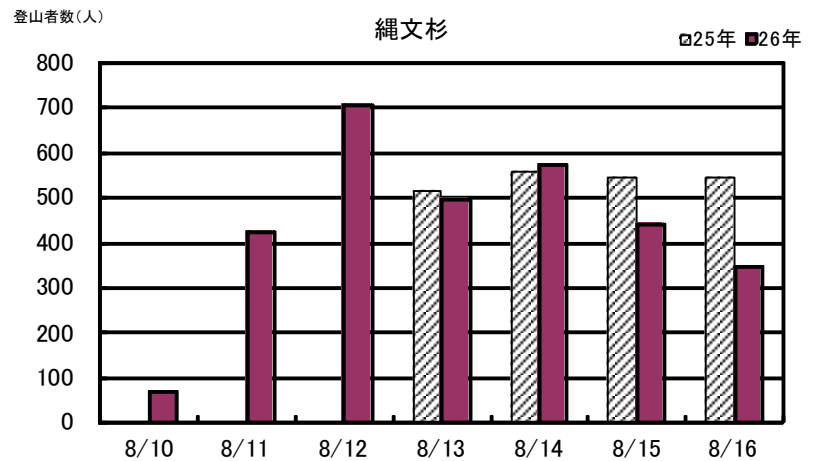
屋久島森林生態系保全センターでは本年も夏休み期間中における森林パトロールを実施。歩道の点検や登山者へのマナー指導等を行いました。

今年は、台風12号・11号があいついで屋久島近海を通過しましたが、特に災害等もなかったところです。

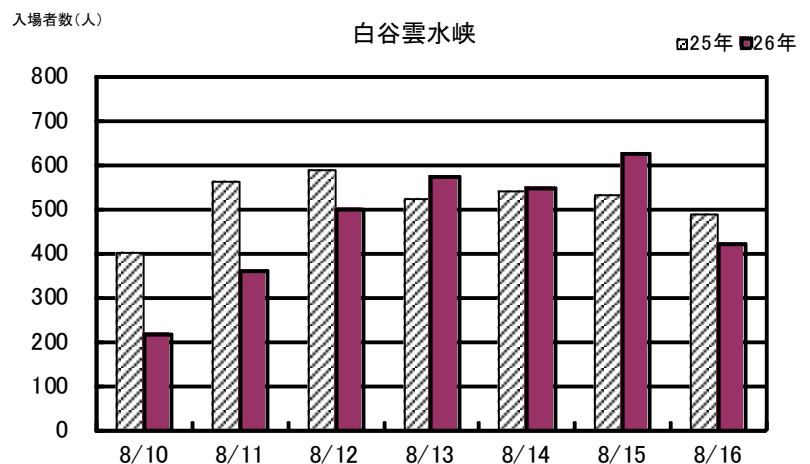
台風等まだまだ自然災害が心配な季節です。登山者の皆さまには登山計画により安全第一での登山をお願いします。

お盆前後における縄文杉の登山者数、自然休養林への入場者数は下記のとおりです。

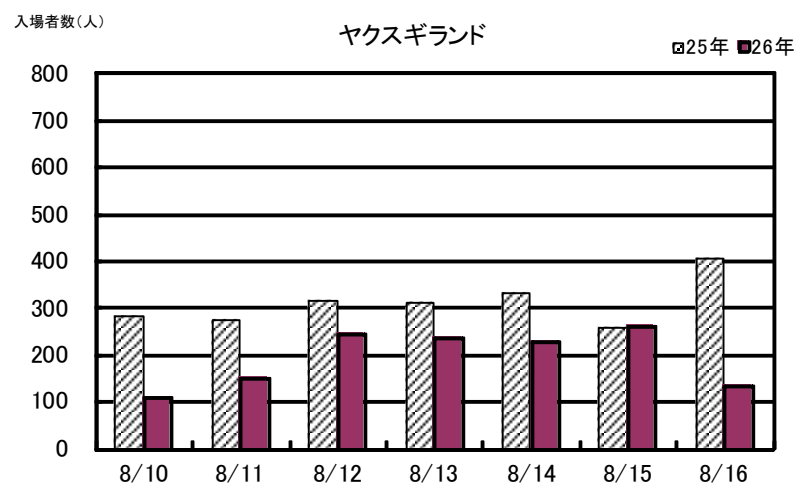
	縄文杉		
	25年	26年	前年比
8月10日	—	71	—
8月11日	—	425	—
8月12日	—	705	—
8月13日	511	494	-17
8月14日	556	573	+17
8月15日	543	440	-103
8月16日	541	346	-195
合計	2,151	3,054	
日平均	537.8	436.3	-101.5



	白谷雲水峡		
	25年	26年	前年比
8月10日	398	217	-181
8月11日	560	360	-200
8月12日	586	500	-86
8月13日	521	571	+50
8月14日	535	548	+13
8月15日	526	626	+100
8月16日	484	422	-62
合計	3,610	3,244	
日平均	515.7	463.4	-52.3



	ヤクスギランド		
	25年	26年	前年比
8月10日	282	107	-175
8月11日	273	149	-124
8月12日	314	246	-68
8月13日	309	237	-72
8月14日	331	226	-105
8月15日	257	262	+5
8月16日	405	134	-271
合計	2,171	1,361	
日平均	310.1	194.4	-115.7



*縄文杉登山者数の25年度は4日間、26年度は7日間の合計及び平均。

*■：日曜日

*縄文杉登山者数は山岳部利用対策協議会の調査、自然休養林入場者数は屋久島レクリエーションの森保護管理協議会の調査による。